

# 芸術文化学部

School of Art and Design

芸術文化学部の情報や  
詳しいカリキュラムは  
こちらから



## 次世代にふさわしい美意識を創造する力。

芸術文化学部は、国立の総合大学において本格的な芸術系教育を受けられる希少な学部です。美術、工芸、デザイン、建築、キュレーションの専門領域の知識や表現と、従来の領域を越えた新たな創造によって、次世代社会を生きる人々にふさわしい美意識が提示できる人材を育成していきます。

創造力を鍛えるためには多様な学生が共に学ぶことが重要と考え、入試は実技(デッサン)又は小論文から選べるようにしています。入学後は芸術文化学の主な6領域からなる専門教育科目から、

自在な組合わせで履修できる『オープンコース方式』により、学生個々に適した進路を絞り込んでいくことができます。また、地域と連携した『実践教育』で、社会と芸術文化のつながりを体験的に学べます。

深い観察力や洞察力、ユニークな発想力と感性豊かな表現力、さらに社会性とをあわせ持った人材、そして総合大学の中にある芸術系だからこそできる人材の育成を行っています。

### 学部長からのメッセージ

## 歴史ある都市で芸術文化を学ぼう

芸術文化学部のある高岡には、瑞龍寺並びに勝興寺の二件の国宝建造物をはじめ、国史跡である高岡城跡があり、江戸時代初期から続く鋳物や漆器産業を有するなど、芸術文化を学ぶには最適の環境にあります。一方、IoTやAI技術の著しい進歩により、我々の暮らしは大きく変わろうとしており、これまで、腕の立つ職人の独壇場だった世界においても次々とAIを搭載した先端的なものづくり技術が進出してきておられます。今後、仮想空間と現実空間が融合した新しい社会(Society 5.0)の中で末永く活躍す

るためには、創造力とコミュニケーション力に秀でることが大切であり、芸術文化を学ぶことはひとつの有効な選択肢です。

歴史都市高岡において、様々な伝統文化や作品群に触れながら地域社会と連携して学ぶことで、急速に変容していく社会に対応できる柔軟な思考力と豊かな創造力を磨いてみませんか。皆さんと高岡キャンパスで会えることを楽しみにしています。



芸術文化学部長 長柄 毅一

# 入学定員 芸術文化学科：110人

## オープンコース

(令和4年度より実施)

学生は適正や興味に応じて自分に必要な専門教育科目を自在に履修できます。主体的な計画が動機を高め、融合的な学修を深めるカリキュラムです。

※受講環境により、一部の科目で履修人数を制限する場合があります。

### 専門教育科目の主な領域

#### 美術

洗練された美意識と様々な造形技能による新しい芸術表現

- 絵画
- 立体造形
- 現代美術



#### 工芸

卓越した伝統技法を基に現代技術を活用した次世代へとつながる工芸制作

- 金属工芸
- 漆工芸
- 生活工芸



#### デザイン

明快なコンセプトで地域の課題を解決し、新たな価値を提案

- プロダクトデザイン
- ビジュアルデザイン
- クラフトデザイン



#### 建築

歴史・風土から織りなす、時と場所の創造

- 建築設計
- 建築再生
- インテリア



#### キュレーション

アートや伝統文化を活かした豊かさを感じる地域づくり

- アートマネジメント
- まちづくり
- 文化財活用



#### 複合領域

従来領域や手法・技術に束縛されないさまざまな人間性の表現

- 媒体芸術
- 芸術と工学
- 情報科学
- 言語・身体芸術



### このような人を求めています

芸術文化に関心があり、特に美術、工芸、デザイン、建築、キュレーション、あるいは従来領域にこだわらない表現活動に対する学修意欲を持ち、次世代社会の調和的発展に貢献しようとする高い志を持つ者を求めています。

●入学受入れの方針(アドミッション・ポリシー)より  
※各ポリシーの全文は、本学ウェブサイトに掲載しています。

### このような教育を行います

教養教育科目と専門教育科目で、カリキュラムを編成しています。芸術文化の専門教育科目は全領域に必要な基幹的な授業と、各領域の専門に特化した授業で構成され、学生が複眼的な視点をもつための融合教育を行います。

●教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

### このような人を育てます

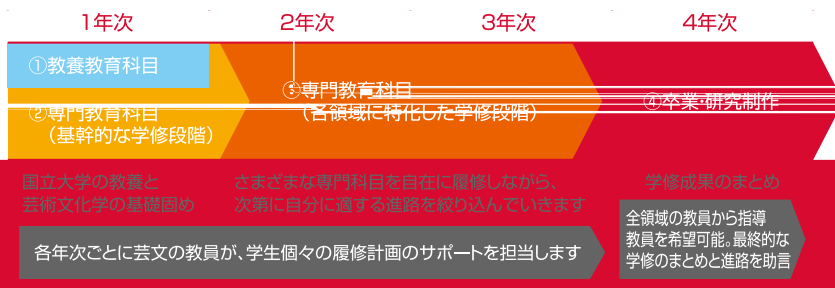
芸術文化の「つくり手」(創造的表現、伝達者)、「つかい手」(既存技術、成果の活用者)、「つなぎ手」(新たな美意識の提案者)として、次世代社会の調和的発展に貢献する人材を育てます。学位は学士(芸術文化学)が授与されます。

●卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)より

### 学修の流れ

(令和4年度より実施)

- ① 大学生として修めるべき教養を学びます。
- ② 主要6領域全体に共通して必要となる基幹的な専門科目を学ぶ段階です。
- ③ 2～3年次は、各自の関心や適性に応じて履修しながら、必要に応じて専門性に特化した専門科目を履修します。
- ④ 卒業研究・制作で、卒業論文・制作物を作成し、指導教員を希望することができます。教員の数だけ多様な専門性と分野の選択肢があり、学生にとっての適任者が選択できます。



### 取得可能な免許・資格

- 建築士養成プログラム(1級建築士受験資格、2級建築士受験資格、木造建築士受験資格など)
- 学芸員資格

### 主な就職先

(2022年度卒業生)

- 石友ホーム ● 宮越工芸 ● 助野 ● 結 ● 箔一 ● トナミ運輸 ● 品川グループ ● 協和製作所 ● 富山ターミナルビル ● オークス ● さくら ● タカノホーム ● HDフラワーホールディングス ● 北陸電気工事 ● 金澤文苑堂 ● 博報堂プロダクツ ● 名古屋市立大学 ● SOMP Oケア ● ジェイアール西日本ビルト ● 富冷 ● 協同工芸社 ● 日本海コンサルタント ● ノリタケ ● アニスビホールディングス ● ペイジメーカー ● 高桑美術印刷 ● 千代田ビル管財 ● 八十二銀行 ● 小松ウォール工業 ● タカラレーベン ● サイネックス ● ウッドリンク ● アイバック ● 三重テレビ放送 ● 本瀬瀨田建築設計事務所 ● 富山県教員 ● 富山県文化振興財団 ● 宇都宮市役所 ● 千葉県文化振興財団

### 〈主な進学先〉

- 富山大学大学院 ● 東京藝術大学大学院

人文学部

教育学部

経済学部

理学部

工学部

都市デザイン学部

医学部

薬学部

芸術文化学部